

千歳市民憲章

(昭和54年7月1日制定)

世界をつなぐ 北の天空。
千歳川の 清い流れ。
開拓 ここに一世紀。
私たちは、誇りある千歳市民です。
郷土の発展と、お互いのしあわせを願い、
この憲章をかかげて、力強く前進をつづけます。

- 1 心身をきたえ、仕事にはげみ、
明るく 若々しい まちにしましょう。
- 1 自然を愛し、季節に親しみ、
快よく 楽しい まちにしましょう。
- 1 きまりを守り、力を合わせて、
美しく 住みよい まちにしましょう。
- 1 年よりを敬い、子供の夢をはぐくみ、
温かく 平和な まちにしましょう。
- 1 文化を育て、希望にみちた、
豊かな おちついた まちにしましょう。



【千歳市民憲章シンボルマーク】
千歳市民憲章制定40周年記念
(令和元年11月20日決定)

都市宣言

交通安全都市宣言
(昭和37年3月12日)

清く明るく正しい選挙都市宣言
(昭和41年12月22日)

青少年健全育成都市宣言
(昭和43年3月27日)

スポーツ都市宣言
(昭和45年6月29日)

暴力追放・防犯都市宣言
(昭和63年3月28日)

ごあいさつ

千歳市では、これまで6期にわたって総合計画を策定し、
総合的かつ計画的なまちづくりを進めることにより、今日まで
着実な人口増加と発展を続けてきました。

まちの活力、発展の原動力は“人”です。千歳市が現在の
勢いを維持し、発展を続けるためには、市内外の方に選ばれ
る“魅力的なまち”となる必要があります。

このため、「千歳市第7期総合計画」の策定に当たっては、
幅広い手法を用いて集めた“市民の声”を計画に反映すると
ともに、刻々と変化する社会情勢や市民ニーズに迅速に対応
できる計画とすることを念頭に作業を進めました。

新たなまちづくりの指針となる千歳市第7期総合計画は、
新型コロナウイルス感染症などの影響により今後の先行きを見
通すことが難しい中、10年後の未来に向かってスタートする
こととなりますが、新千歳空港や支笏湖など“千歳らしさ”
を保ち、多様な意見や新しい価値観を受け入れながら、各種
施策や事業を効果的に展開することにより、市民の皆さまが
幸せを感じ、「住んで良かった」と思えるまちであり続けると
ともに、将来都市像である「人をつなぐ 世界をつなぐ 空の
まち ちとせ」の実現を目指してまいります。

本計画の策定に当たり、各種アンケート調査やまちづくりイ
ンタビューなどを通じ貴重なご意見をいただきました皆さまを
はじめ、千歳市都市経営会議委員、千歳市総合計画審議会
委員、並びに計画策定にご協力いただいた多くの関係者の皆
さまに心からお礼を申し上げます。

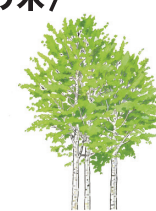
令和3年3月

千歳市長 山本 幸太郎

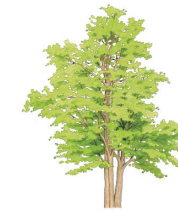


市のシンボル

〈市の木〉



シラカバ
(昭和43年4月1日制定)



カツラ
(昭和61年4月1日制定)

〈市の花〉



ツツジ
(昭和61年4月1日制定)



ハナショウブ
(昭和61年4月1日制定)

〈市の鳥〉

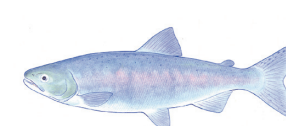


コウライキジ
(昭和61年4月1日制定)

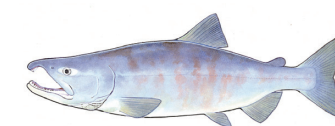


ヤマセミ
(昭和61年4月1日制定)

〈市の魚〉



ヒメマス
(平成8年11月1日制定)



サケ
(平成8年11月1日制定)

千歳市章

(昭和27年5月1日制定)



説明

ちとせの「ち」を飛行機の形に図案化して、空港がある臨空都市
を表現するとともに、国立公園支笏湖とその連山、豊かな大地
など伸びゆく千歳の姿を描いています。